

市制100周年機運醸成プロジェクトの名称等の決定について

総合政策部 企画政策課

電話 0284-20-2261

1 趣旨

令和3(2021)年1月に迎える市制100周年という記念の節目を、次の100年に向かって飛躍する契機とし、市民・企業・団体や本市にゆかりのあるすべての関係者（以下「市民等」という。）と協働しながら“元気に輝く都市 ^{まち} 足利”を創造するため、その機運醸成を目的に実施するプロジェクトの名称等が決定しましたので報告するものです。

2 プロジェクトの名称

プロジェクト ^{えーひゃく} A100


3 事業期間

令和2(2020)年4月20日～令和3(2021)年12月末日

4 プロジェクトに込めたメッセージとロゴマーク（別紙1のとおり）

ひとりひとりが、足利のために。
足利は、ひとりひとりの思いのもとに。

この街で、生まれた。この街で、育った。この街で、暮らそうと決めた。
この街で、笑って、泣いて、怒った。この街で、恋をして、ケンカして。
この街で、愛を知った。この街で、勇気をふりしぼった、希望を抱いた。
この街で、あなたと出会った。この街で、家族になった。この街で、
家族が増えた。この街、足利が大好きだからもっともっと、この街を
思い、考え、感じたい。そんな思いを、しっかり受け止める足利へ。
2019年、大きな災害がありました。だからこそ、前へ、そう信じ、歩
を進めます。そのためにできること、すべてを。そして、その先にある
街づくりへ。2021年、足利は市制100周年を迎えます。足利の頭
文字“A”は、そんないちばん最初、原点に戻る“A”だと、思うのです。



2021年、足利市制100周年へ



作成：佐倉康彦氏（写真中央下段）

広告業界の第一線で活躍する本市出身のクリエイティブディレクターです。昨年3月開催のシティプロモーションシンポジウムや9月開催の高校生ミーティングでもご活躍いただきました。

このメッセージでは、様々な方々との協働とその思いを表現するとともに、昨年台風 19 号の被害も受け止めながら前に進む意思を緩やかに表現しています。

「足利」という名称は、本市が誇れる価値のひとつです。「A」はその頭文字であり、いちばん最初、原点に戻ることも意味しています。

5 プロジェクトの内容

このプロジェクトの一環として、市制 100 周年を契機にシティプロモーションの旗印であるキャッチコピーやロゴマークを市民投票等により作成します。

そのほか、プロジェクトが開始される令和 2（2020）年 4 月 20 日までに、多くの市民等が参加でき、市制 100 周年への機運醸成や関連する情報の共有を図ることができる事業を検討し、随時広報「あしかがみ」やホームページ、SNS で発信していきます。

ひとりひとりが、足利のために。
足利は、ひとりひとりの思いのもとに。

この街で、生まれた。この街で、育った。この街で、暮らそうと決めた。
この街で、笑って、泣いて、怒った。この街で、恋をして、ケンカして。
この街で、愛を知った。この街で、勇気をふりしぼった、希望を抱いた。
この街で、あなたと出会った。この街で、家族になった。この街で、
家族が増えた。この街、足利が大好きだからもっともっと、この街を
思い、考え、感じたい。そんな思いを、しっかり受け止める足利へ。
2019年、大きな災害がありました。だからこそ、前へ。そう信じ、歩を
進めます。そのためにできること、すべてを。そして、その先にある
街づくりへ。2021年、足利は市制100周年を迎えます。足利の頭
文字“A”は、そんないちばん最初、原点に戻る“A”だと、思うのです。

A 1000

One for A, A for One.

2021年、足利市制100周年へ